

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 645 号	氏名	釜崎 敏彦
学位審査委員	主査	尾崎 誠	
	副査	上谷 雅孝	
	副査	松田 尚樹	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 ^{18}F-FDG PET/CT はグルコース代謝の評価や炎症部位の特定に有用であるが、FDG 集積と疼痛や疾患との関連性は明らかにされていない。本研究では、FDG 集積と関節の疼痛との関連性を明らかにしようとしたもので、研究目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 PET/CT 検診受診者のうち肩関節に安静時痛がある 122 名と、年齢と性別をマッチングさせた安静時痛のない 122 名を解析の対象とし、肩関節への FDG 集積、疼痛の程度、尿酸値などを調査し統計学的に検討したもので、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、PET/CT で認められた肩関節への FDG 集積は、局所の疼痛の有無と程度に関連していた。また、尿酸値との関連も認められ、PET/CT が関節の炎症や損傷のスクリーニングとしても有用である可能性が示唆された。これらの結果は PET/CT を用いた新たな関節疾患評価方法の確立に貢献するもので、今後の進展が大いに期待できる。</p>			
<p>以上のように本論文は関節疾患の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			